

万達集團(ワンダグループ)・JCCEF出店計画 和心館

1.日中文化経済交流発展基金会について

「日中文化経済交流発展基金会(JCCEF)」は1990年8月、元・上海市長で在られた汪道瀧先生と日本の政財界の重鎮の方々のご賛同を得て発足。

中国を世界最大の消費市場国と捉え、「中国を内需に」というキーワードで、日中両国の「経済促進および発展」を目的として設立。優れた技術、製品やサービスを持つ日本企業の中国進出ビジネスがスムーズに展開できるよう支援及びサポート。

2.万達集團(ワンダグループ)について

1988年に現総帥の王健林により大連で不動産会社として創設。本社は北京。現在は**大型ショッピングモールの万達広場(ワンダプラザ)**や高級ホテルの運営、隣接するマンションの販売など中国の111都市で175のプロジェクトを展開。



代表取締役: 王健林

アジア最大の財閥で、2014年12月に関連子会社の大連万達商業地産が香港証券取引所から新規株式公開(IPO)の認可を取得。

3.万達広場(ワンダプラザ)について

万達広場(ワンダプラザ)は、万達集團の子会社「大連万達商業地産」の施設で、**全国各地に展開しているショッピング・センター**。

- ・プラザ自体は**娯楽、飲食、ショッピング、金融、ホテルと一般向けのマンション**等の機能も備え、都市の中心部にランドマークとなるような建物を構えている
- ・現在**建設オープン済212プラザ**、また、**毎年50プラザ**ずつ建設予定



※2016年データに基づく



各都市のワンダプラザ

4.出店計画の経緯について

本基金会では、会員の皆様の中国進出や事業推進を行ってまいりました。昨年8月末にも万達集團(ワンダグループ)主催の上海国際ビジネス会議の展示会に会員企業の皆様の商品を出展いたしました。中国での継続的なビジネスは意思伝達の難しさや商習慣も異なります。

今回、万達集團の協力のもと日本のより良い商品を対象として、**ワンダプラザにて日本商品の専門店出店**を計画しております。

本計画は**メイドインジャパンのみを対象とした直販商品と越境EC**を利用した体験商品の2系統を万達集團が経営する万達広場(ワンダプラザ)の新規店舗にて販売いたします。皆様には是非出品のご検討を賜りたいと思っております。

5.出店計画詳細

5-1.JCCEF(日中文化経済交流発展基金会)の提供するサービス



※一部サービスがオプションとなります

5-2.出店計画のポイント

- ・月締めの売り上げ処理と在庫管理(補充)を行う
- ・体験商品はKJT.COMに商品を登録しネット通販による販売を行う
- ・JCCEF上海企業が販売員を派遣して販売業務を実施
- ・JCCEFが日本への送金処理業務を行う

意思伝達・商習慣の課題を解消

出店趣旨: JCCEF 会員企業の商品及び中国における日本の人気商品の直販と体験



- ・出店主
- ・販売管理
- ・販売員: JCCEF 中国で2名 (※商品点数により増)
- ・月次売り上げ管理
- ・日本国内へ売り上げ金送金
- ・出品企業へ売り上げ配分



- ・輸出通関運輸
- ・倉庫保管
- ・EC運営
- ・宅配
- ・商品在庫場所



輸入認定品は直販販売
非輸入認定品は体験商品としてネット通販で販売
EC基盤: **KJT.COM 跨境通**



- ・店名: 和心館(ワシンカン)
- ・出店場所: 万達広場
- ・店舗面積: 10-20坪
- ・店舗工事費: 中国ファンドより
- ・取扱商品数: 会員企業、非会員企業50点 (直販商品、体験商品を含む)
- ・売り上げ管理: 万達広場 (POS基幹)

参考: ワンダプラザ上海五角広場店概要



ワンダプラザ上海五角広場店は楊浦区の繁華街「五角場」の中心に位置する。主に5棟の建物から成り、デパート、スーパーマーケット、食品店、シネコン、大型書店、子ども用品店、オフィスビルなどが入っている。

週末は楊浦区に住む人(約108万人)や近隣大学の学生たちも非常に混み合う。上海を代表するベッドタウンの大型モールの一つ。1人あたりの平均消費力は6800円/人となり、プラザのカバー範囲は5~6Kmとなる。

参考: ワンダプラザ店舗売り上げ平均

ワンダプラザ内店舗単体 日売り上げ: 1万元(17万円) 月次売り上げ: 30万元(510万円) 年度売り上げ: 360万元(6,120万円)

問い合わせ先: imagiire.michiaki@jccef.jp lingyi.king@jccef.jp (担当: 今給黎・凌)